

映画

「没後1年、
瀬戸内寂聴さんを
偲んで」

特別企画

瀬戸内寂聴

99年生きて思うこと

上映会 + 認知症VR体験会

のご案内

入場無料

合計400名様ご招待

「人生後半をどう生きていくのか?」の
ヒントが満載の作品です

瀬戸内寂聴さんが亡くなるまでの17年間に撮影したドキュメンタリー映画「瀬戸内寂聴 99年生きて思うこと」(中村裕監督)の上映会を開催します。寂聴さんは作品内で「老い」や「ぼけ」について率直な思いを語っています。晩年の人生を通じて、「いかに生き、老いていけばいいのか」について考えるヒントが満載の内容です。さらに、「朝日新聞認知症VR体験会」もセット開催します。認知症の人の視界を疑似体験できます。人生後半のあり方をもとに考え、たとえ認知症になったとしても穏やかに暮らしていけるヒントをつかんでもらうイベントです。

©2022「瀬戸内寂聴
99年生きて思うこと」
製作委員会



寂聴上映会

開催日: 2022年11月27日(日)

時間: 第1部 12時~13時半(受付開始11時)

第2部 14時半~16時(受付開始14時)

会場: 今池ガスホール

名古屋市千種区今池1-8-8 今池ガスビル9階

名古屋市営地下鉄今池駅下車 10番出口直結

定員: 各回 100組200名 合計200組400名

※応募者多数の場合は抽選となります。

※座席は自由席です。

入場料: 無料

お申し込みURL: <http://t.asahi.com/jyakuchomovie>

お申し込み締め切り: 2022年11月20日(日)

お問い合わせ: 朝日新聞名古屋本社 キャンペーン事務局

n-hanbai-c@asahi.com

※件名に「寂聴映画上映会」と明記ください。

朝日IDの登録方法についての問い合わせは

0120-383-636まで

(平日9時~18時、土曜日9時~17時)



朝日新聞



認知症VR体験会



会場ホワイエで 「認知症VR体験会」開催

映画上映会の開始前と終了後に会場ホワイエで「認知症VR体験」ができます。認知症の人の視界を体験することで、本人の不安や戸惑いを感じとっていただく機会になります。

開催時間: ①11時~12時 ②13時半~14時半

③16時~16時半

体験時間: おひとり様につき約10分。先着順



《生誕100年記念》に緊急公開!



国民的作家・寂聴さんと
ディレクター“裕さん”。
密着17年。二人の間に
“タブー”はない。

2022年5月15日で満100歳を迎えるはずであった瀬戸内寂聴に、密着17年間という歳月を撮影し続けた監督・中村裕。2015年にNHKスペシャル「いのち 瀬戸内寂聴 密着500日」(ATP賞ドキュメンタリー部門最優秀賞受賞)のディレクターもつとめた実力派監督だ。17年に及ぶ密着では、日常的に互いに全てを報告し合う、まるで母親、先達、友人、あるいは恋人のような…形容しがたい関係性の二人。長年、寄り添い続けた監督だから描ける“誰も知らない瀬戸内寂聴”の“本音”や“金言”の数々が満載の貴重なドキュメンタリー映画が誕生した。

99年の恋と革命。

その波乱万丈の「生き様」とは一。

寂聴は、死の直前まで月刊誌、新聞の連載をこなす“現役”作家であり、2020年1月まで行っていた、月一の法話には全国から人が押し寄せる「最長寿の国民的アイドル」。駆け落ち、不倫、三角関係など、自らの体験を私小説の形で次々に発表し、世間のパッシングに晒されるも、女流作家として不動の地位を確立。51歳のとき出家し、以来、僧侶、作家の2つの顔を持つ。いつまでも恋心を持って生きる一。女性であるということを忘れず人生を楽しむ一。彼女の“生き様”は、不寛容な空気が充満しつつある現代社会で、人間の生命力とは何かを強く感じさせてくれ、〈いかに生き、老いていけばいいのか〉というヒントともなるはずだ。

生きるということとは、死ぬ日まで自分の可能性をあきらめず、与えられた才能や日々の仕事に努力しつづけることです。

生きることは愛すること。

瀬戸内寂聴
99年生きて思うこと

